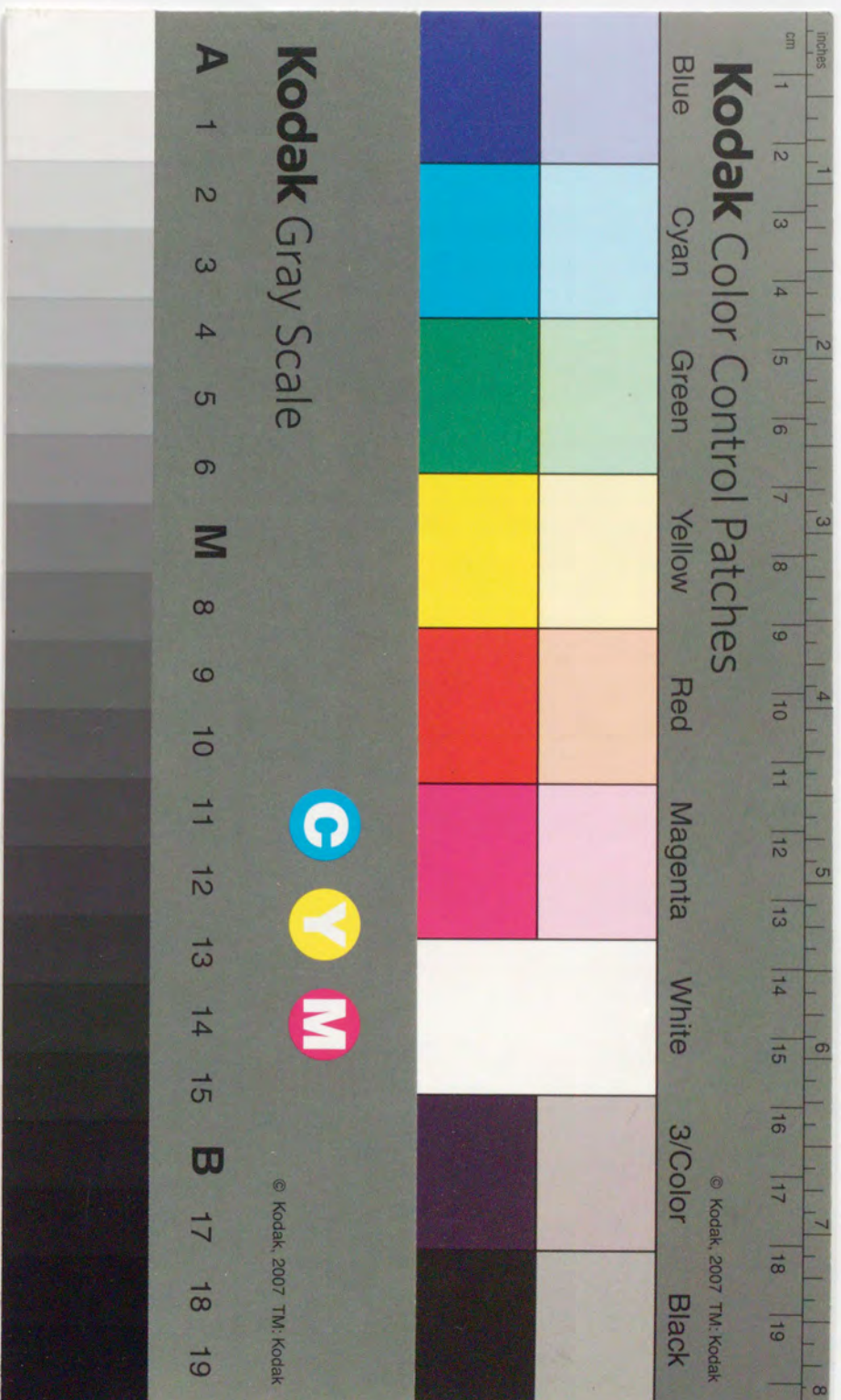
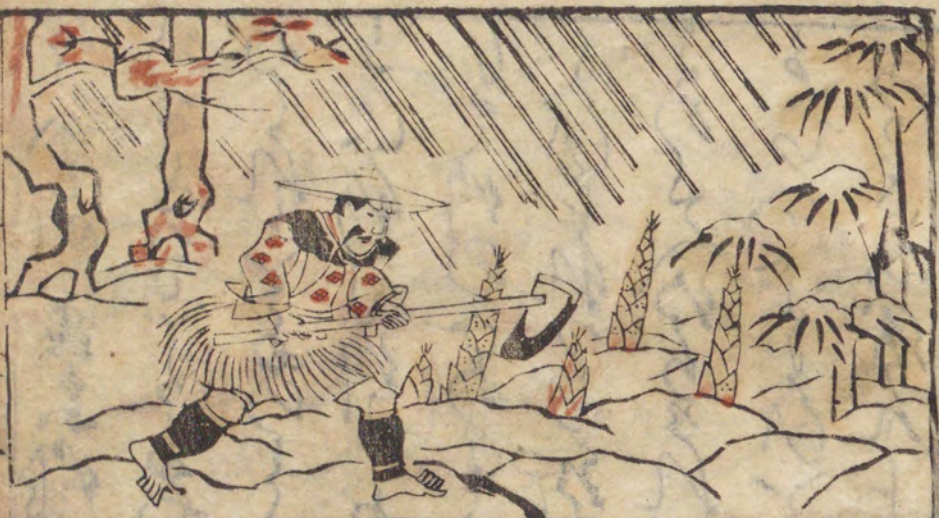




[illegible]

孟宗 字恭武 或字恭

泪滴朔風寒
蕭々竹數竿

須臾春笋出 天意報平安

高きいひくちてふと
 くれびられぬやうに
 母年おはな起つてゐる
 つまづこれ味もあじない
 りらねばしらぬものを
 めりみのおろろは舞臺かへ

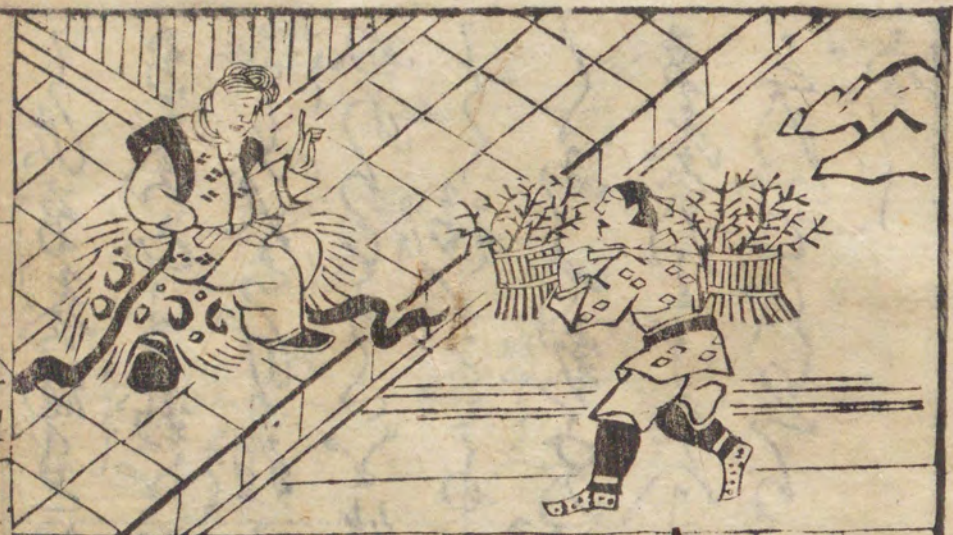
[illegible]

子騫

因氏有賢良何曾怨晚娘
尊前曲盡在三子免風霜

びんけいふくおの
 母うかつふくあふり
 けいふくふくふくふく
 ふくふくふくふく
 ふくふくふくふく
 ふくふくふくふく

けつちんをたてておひつる人々を
 の書とせんといふは因^{いん}子^し養^{やう}の事な
 りははたしめられぬ人の心はけし
 ちひさしき心なりとておひつる
 ことありとておひつる人々を
 の書とせんといふは因^{いん}子^し養^{やう}の事な
 りははたしめられぬ人の心はけし
 ちひさしき心なりとておひつる
 ことありとておひつる人々を



曾參

母指繞方並見心痛不禁

頁新般來晚骨肉至情深

要条ありし時半へ新とる

ゆきとらぬ
ゆきとらぬ
ゆきとらぬ
ゆきとらぬ

けふあつてふ

是よりてきくおひた

萬壽無疆

より家々としてあけふは

此翁夢見玉匣にてうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと
 夢見玉匣とひらひらとうつらうつらと



玉祥
 繼母人間有玉祥天下無
 至今河水上一片卧水摸
 玉祥
 玉祥の母は人間にあり玉祥は天下に無
 至今河水上に一片の玉祥を摸
 玉祥の母は人間にあり玉祥は天下に無
 至今河水上に一片の玉祥を摸

又其の腹をくちておめえかゝぬた
 ようよふけつ。その時あつた家づつ
 あらひだすまはるはつりてくるてふ
 られどわさびにみづは寝あつたま
 とれしらぞろく母はあつたゆらもこの
 あきはまるりあつたひんよとや
 かぬらうくとおせんてまたしら
 わさあなるべし



唐夫人

孝敬崔家婦乳姑晨盥梳
此恩无以報願得子孫如

長夫人のまへからうへに長孫夫人
 のおけりてからうへに
 ようれいふれいふれとふ
 くら。或は物もようもとけり
 そのゆゑうへに流るゑて
 とおんやういゆらうと

[illegible]

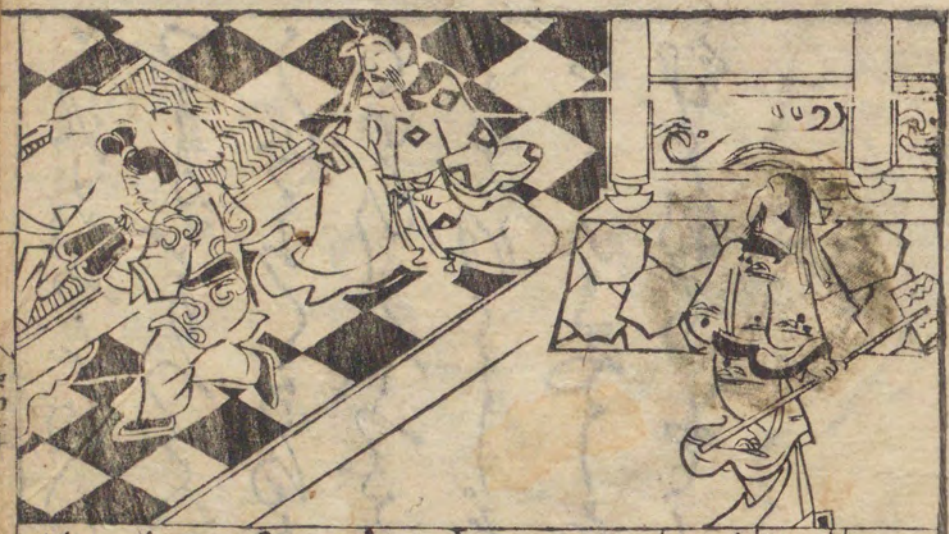
董永

死而貸方兄天姬酒上迎
織絹償債主孝感盡知名

とうふいへづけりて何は
 うぬもるし歌ひをきて
 きぬ今やとていづかへ
 くとて賃とてらて目と
 くらとて又智とて是もあ
 たらぬぢやないといふ車とて



くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや



黄香
 冬月温衾煖 夏天扇枕凉
 兒童知子職 千古一黄香
 黄香のんつとて
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや
 くらりくらりておぼへてはかたきつゝとや
 ひらりひらりておぼへてはかたきつゝとや

へまぬびしひよめくひて縁ははれ
 さぞちりしきりしきりしきりしきり
 ぬこへまひつるあけぬきいふまふ
 かぬたよけいふうづみひゆり部は
 ともてはしきゆりぬれ金のぬり
 まゆはあけぬきのぬりぬりぬり
 ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり
 ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり
 ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり
 ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり



七歳生離母参商五十年
 一朝相見面喜氣動皇天
 ちやいせむかひ七歳の時
 ふもぬとちりけししゆも
 そぬとちりけししゆも
 けりしとちりけししゆも
 めしとちりけししゆも
 しとちりけししゆも

[illegible]

菜頌

黑樓奉親闈啼飢淚滿衣

赤眉知孝順牛米贈君販

夢頃へぐよんとのあふ
 ろう。うも。と。あふ。ふ
 九。う。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ
 う。う。う。う。う。う。う
 母。あ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ

ありけり。のれ。う。人。と。し。り。け。れ。の。り。と。う。ま。
 大。ま。と。素。頼。ま。と。や。の。海。と。そ。を。よ。ひ。り。を。ま。
 ち。と。や。い。ひ。り。と。素。頼。ひ。り。の。母。と。そ。の。り。に。ま。
 ら。り。の。母。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。
 け。り。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。
 て。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。
 と。ま。の。り。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。
 と。れ。た。一。つ。の。り。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。
 ら。り。の。り。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。



庚黔婁
 到縣未旬日椿庭擗疾深
 顛將身代死北望啓憂心
 ゆゑんばかきなりけり人
 ら。の。母。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。
 よ。り。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。
 け。り。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。
 あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。
 し。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。り。ま。と。あ。

[illegible]

田真田廣田慶

海底紫珊瑚群芳總不如

春風花滿樹
兄弟復同居

てんじんぎんぎ

星王の御意に依りて三人の兄弟の

つゝ親よとて懐の秋の夜

萬葉集卷之六

海のふちのふちを
ついで

さうなれば、
美利堅のふたつあり

是世宗皇帝

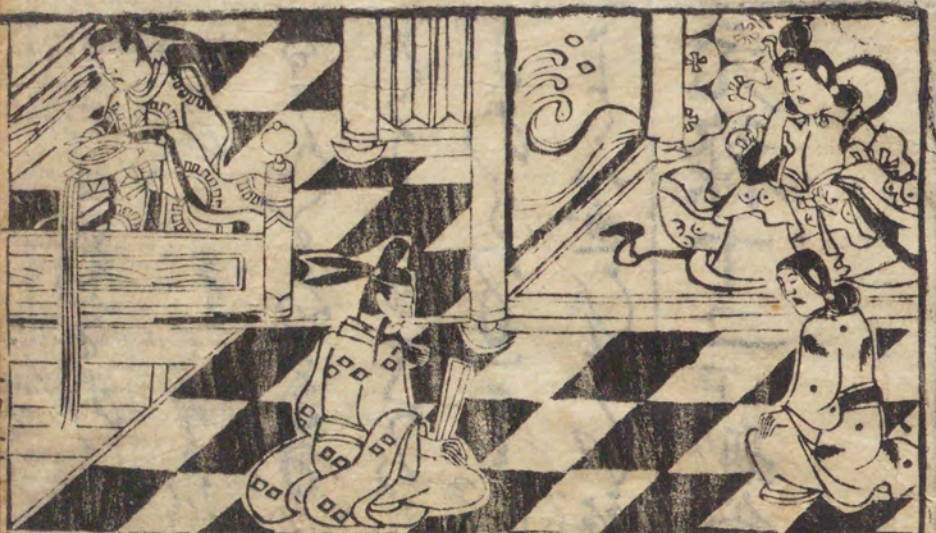
[illegible]

吳猛

夏夜無惟脹蚊多不敢揮
恣渠膏血飽免使入親膚

[illegible]

とぬきくたふよふかきものありま
 ーとあふくかきものありま
 りあふくかきものありま
 りあふくかきものありま
 ふすかきものありま
 りあふくかきものありま
 りあふくかきものありま
 りあふくかきものありま



山谷

貴顕聞天下平生孝貞親

汲泉消溺然婢妾豈無人

山谷家の世の結念のいま

よむそふ人のそふ人

おふりあふくかきもの

けふもあふくかきもの

あふくかきものありま

あふくかきものありま

つづきとあひく母あはれづるまゝ
つてたゞそれのみ。さういふもの
もんとあはれぬそのはらうなりと
さういふものやとげんつゝさういふ
よめとあはれぬそのはらうなりと
さういふものやとげんつゝさういふ

元禄十二巳卯年七月吉直

大坂南本町二十目

萬屋仁兵衛



